

市民ホール 基本計画

- 概要版 -

平成24年4月

小田原市

■ 管理運営

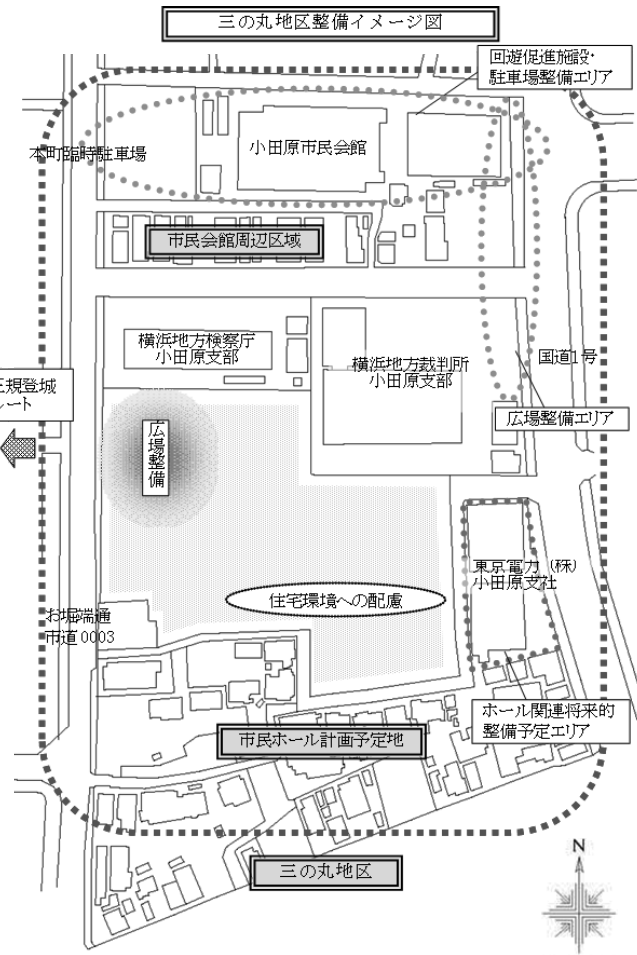
文化の豊かさを市民が享受できる事業を実践できる管理運営体制を構築していくことが、市民ホール整備の大きな課題です。市民ホールが芸術文化創造のための拠点として、小田原市の芸術文化を通じたまちづくりや文化都市の創造につながる活動を展開していく“文化的な機関”となるような管理運営が求められます。

管理運営の詳細については、今後、基本構想、基本計画での考え方をもとに、「管理運営計画」としてとりまとめていくこととし、芸術文化創造センターとして、施設の持つ機能を十分に活かした活動が行えるよう検討を進めていきます。

■ 敷地計画

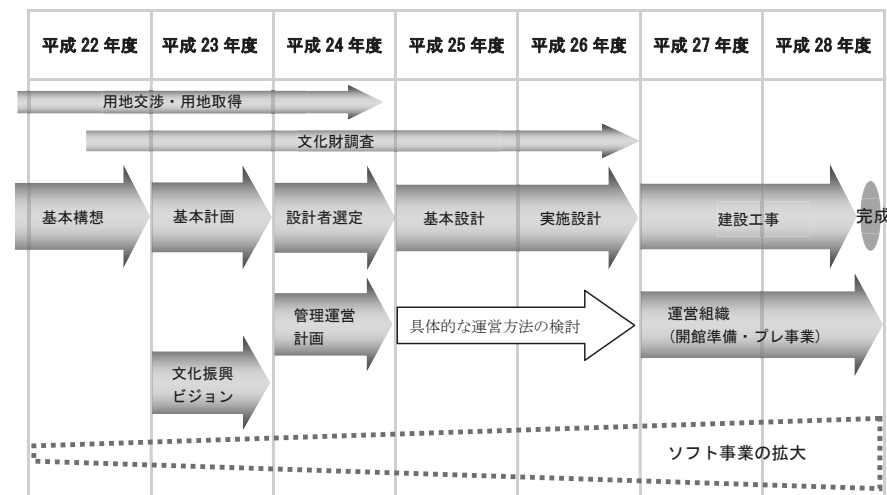
留意事項

- ・お堀端通り側には、十分な広場空間を確保し、建築物が街路に圧迫感を与えないように配慮し、また、敷地内に樹木等を積極的に配置することで、まちに潤いや安らぎを与えるとともに、まちなみの連続性に配慮します。
- ・お堀端通り側の馬出門に面した部分については、小田原城の正規登城ルートである大手筋に位置するため、十分な広さを整備します。また、その広場空間は、アート活動やイベントを行うことができるように工夫することで、まちににぎわいを生み、中心市街地の活性化へ寄与するとともに、災害時の避難や活動のための空間としても活用できるよう計画します。
- ・近隣の住宅環境等を考慮しながら建築物のボリュームや配置を検討し、生垣やフェンスなどを設置します。また、市道2197を廃止し、現行の通行機能が可能な動線を確保します。



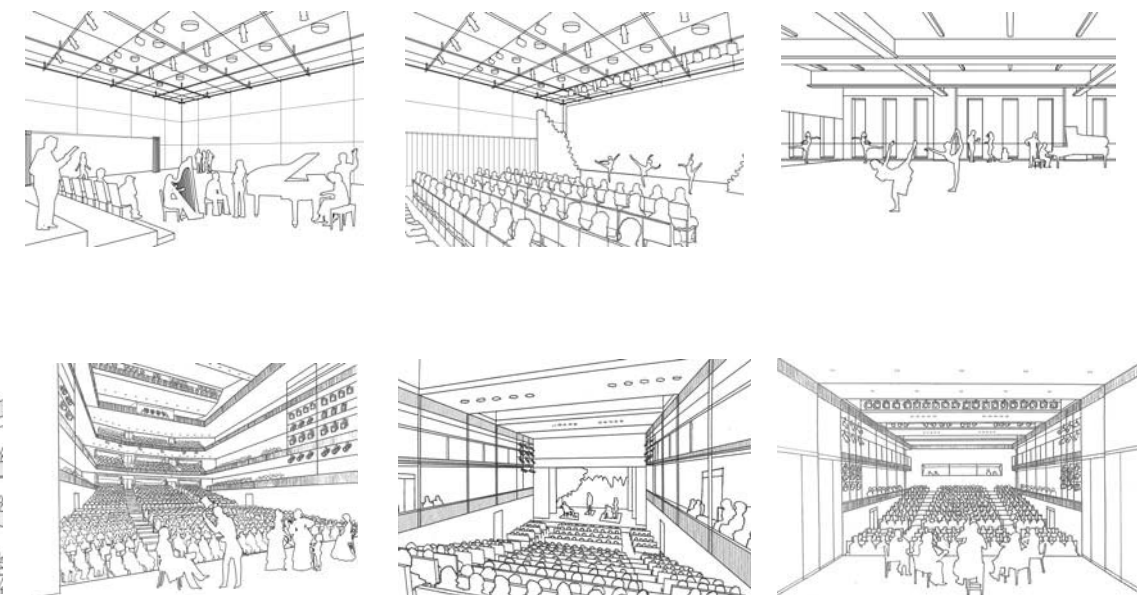
■ 整備スケジュール

下記のスケジュールで整備を進めていく予定です。



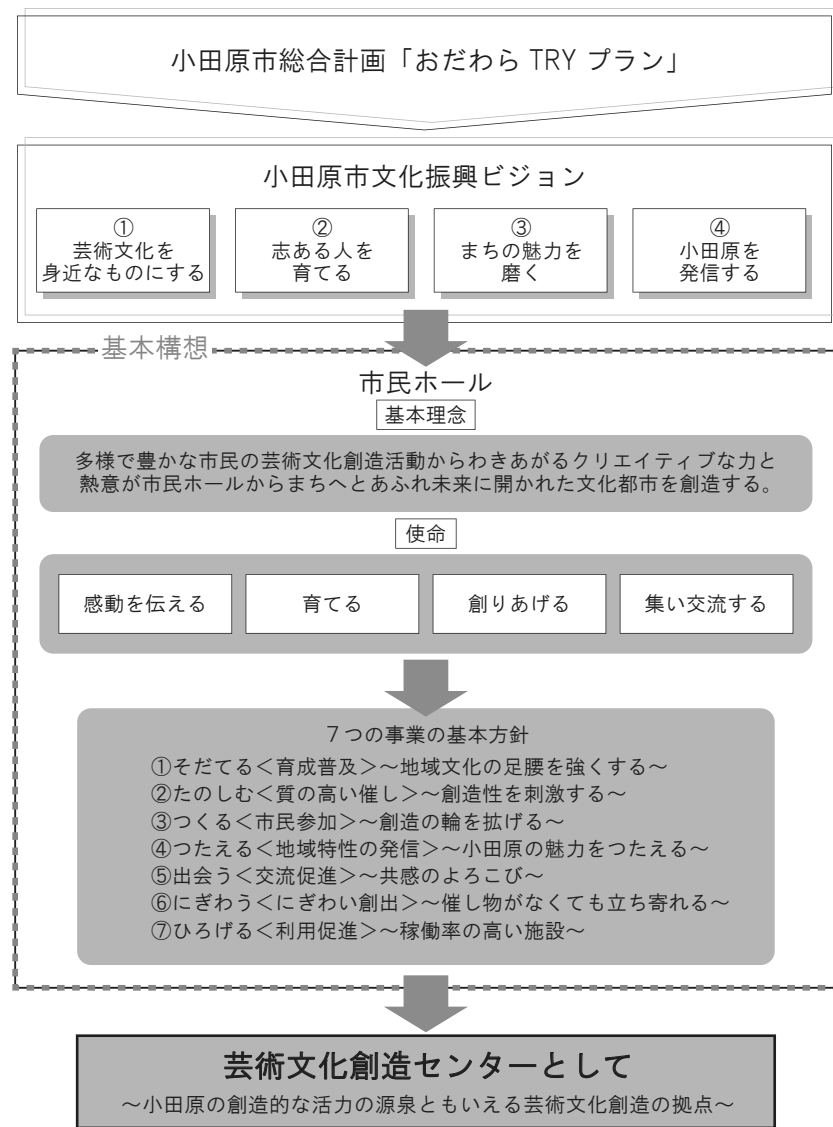
市民ホール 基本計画 - 概要版 -

発行：小田原市文化部文化政策課
 〒250-8555
 神奈川県小田原市荻窪 300 番地
 TEL: (0465)33-1702
 FAX: (0465)33-1526
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/>

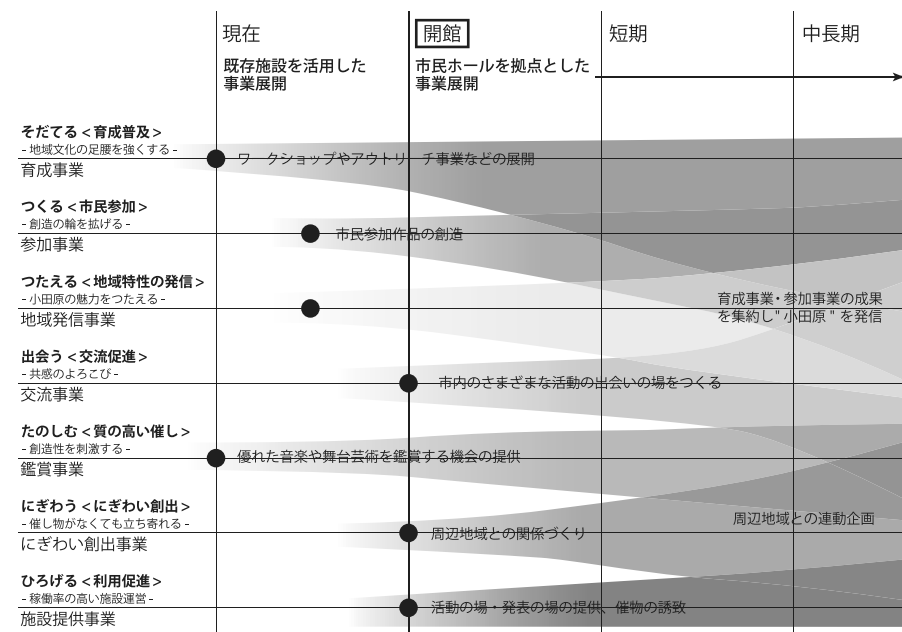


■ 基本計画の位置づけ 市民ホール整備の目的 事業方針

基本計画は、基本構想で定めた基本理念や基本方針に基づき、市民ホール建設の具体的な内容を示すとともに、今後の設計者選定や設計業務に向けて、小田原市の整備推進方針を示すものです。



【中長期的な事業展開の考え方】



■ 施設計画

長期にわたり市民に愛され利用される施設とするため、芸術文化の多様性や将来のニーズの変化にも対応できる施設計画とするとともに、ハレの場にふさわしいクオリティを確保し、過剰なしつらは控え、イニシャルコストやランニングコストに配慮した、シンプルで使いやすい施設を目指します。

このため、右の施設整備の基本的な考え方に基づき、基本理念の実現に向け施設で行われるさまざまな活動に対応する諸機能を適切に配置します。

- ① 芸術文化創造の拠点 ～芸術文化活動の中核として市民に愛され利用される施設～
- ② 機能的で使いやすい施設 ～芸術文化の多様性や将来の可能性への対応～
- ③ 人にやさしい施設 ～誰もが快適で安心して利用できる～
- ④ にぎわいの創出 ～気軽に訪れることのできる親しみやすさと回遊性の向上～
- ⑤ 景観への配慮 ～立地を活かした景観の形成～
- ⑥ 環境との調和 ～環境負荷の少ないまちづくりへの貢献～
- ⑦ 防災対策 ～十分な防災対策と運用～
- ⑧ コストへの配慮 ～中長期的視点～

● 大ホール系機能

- ・各ジャンルの公演、各種芸術文化活動の発表、式典、大規模大会などの用途を想定。
- ・音楽利用から、本格的な舞台芸術作品の上演が可能なプロセニウム形式の舞台を持つ多目的型。
- ・客席は1,200席程度。
- ・多層バルコニー席を備え、1階席のみを利用した場合空席感を感じることがない空間を計画。

● 小ホール系機能

- ・舞台芸術、伝統芸能など各ジャンルの公演、各種芸術文化活動の発表、市民集会、講演会などの用途を想定。
- ・音楽利用、舞台芸術作品の上演、多様な演目に対応する多目的型。
- ・300席程度の段床式の固定席。
- ・張出舞台が容易に設置できるような空間を計画。

● 展示系機能

- ・大型の作品を展示できる4m程度の天井高さを持つ350㎡程度のギャラリー。
- ・平面作品だけでなく立体展示や生け花、多様な展示に対応、関連するワークショップや講演などの利用を想定。

● 創造系・支援系機能

- ◎大スタジオ
 - ・芸術文化創造活動の公演、練習やリハーサル、展示などに利用を想定。
 - ・小規模な公演や試演会などが行えるよう、演出設備や機能を備える。
- ◎中スタジオ
 - ・小規模の練習やリハーサルが行える室。
 - ・楽屋や控え室としての利用も想定。

◎小スタジオ

- ・個人や少数数での練習やリハーサルなどが行える室。
- ・肉声や生音の練習に適したスタジオ、電気楽器を使用できる遮音性能を備えたスタジオを想定。

◎ワークショップルーム

- ・ワークショップや会議、小規模のレクチャーなどが行える室。

◎創造スタッフ室

- ・市民参加活動を行なう市民(あるいは団体)の活動拠点。

◎更衣室、楽器庫、その他

● 交流系機能

- ◎オープンロビー、レストラン・カフェ、託児室

● 管理系機能、その他の留意点

- ◎管理事務室、倉庫、機械室、その他の諸室
- ◎駐車場・駐輪場、周辺環境整備、備品

